

資料 2-2 (当日配付)

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（結果概要）

1 介護予防・健康づくりに関して

(1) 転倒不安と活動意欲の低下

問	転倒に対する不安	
☐	転倒に対する不安が「ある」 ・ 男性50.0%に対し、女性70.5%。 ・ 85歳以上では、78.9%が不安ありと感じている。	61.1% (18.8+42.3)
問	外出を控えているか	
☐	外出を控えている ・ 65歳～69歳は11.1%に対し、85歳以上では51.9%。 ・ 外出を控える理由（P29）は 足腰などの痛み 55.1% トイレの心配（失禁など） 24.2% 外での楽しみがない 19.1% 交通手段がない 16.9% の順に多い。	22.1%
問	週1回以上外出しているか/昨年と比べた外出回数	
☐	週5回以上外出している 一方で、	71.7%
☐	昨年と比べて外出回数が減った（P25） ・ 65歳～69歳は18.0%に対し、85歳以上では46.4%。	25.1% (2.9+22.2)

(2) 生きがい・社会参加意欲

問	生きがいはあるか	
☐	生きがいがある ・ 女性58.1%に対して、男性が48.4%と10%程度低い。 ・ 「思いつかない」は、41.1%。	53.8%
問	趣味はあるか	
☐	趣味がある ・ 「思いつかない」は、30.7%。 ・ 一人暮らし世帯では「趣味がある」と答えた割合が低い。	65.6%
問	地域での活動（会やグループ等への参加の有無と頻度）	
☐	参加していない ①ボランティア、②スポーツ、③趣味、④学習・教養、⑤介護予防（いきいき100歳体操・あななんサロンなど）、⑥老人クラブ、⑦町内会・自治会、⑧収入のある仕事	5割超

問	健康づくり活動や趣味グループ活動への参加希望	
☐	参加してもよい	46.0%
	・ 逆に、参加したくない … 39.6%	
	・ 年齢が上がるにつれて参加意向が低下 (65歳～69歳では52.3%が参加してもよいと回答)	
☐	企画・運営(お世話役)として参加してもよい	27.4%
	・ 逆に、参加したくない … 62.4%	

問5
(2)(3)
P90
P92

(3) 通いの場・介護予防事業の認知度

問	介護予防(いきいき100歳体操、あななんサロン、いきいき健口体操)	
☐	認知度は	
	・ いきいき100歳体操 … 「知らない(興味がない)」 33.1%	
	・ あななんサロン … 「知らない(興味がない)」 52.4%	
	・ いきいき健口体操 … 「知らない(興味がない)」 46.8%	
	一方で「知らない(機会があれば参加したい)」も一定数あり	
問	どのような介護予防や健康づくりに興味があるか	
☐	「自宅でできる運動や体操」	60.0%
	・ 前回調査時(61.1%)とほぼ同じで、自宅でできるものの希望が突出して高い。	
問	介護状態にならないよう心がけていること	
☐	上位から	
	① 健康診断などを定期的にうけている … 51.7%	
	② ウォーキングや体操など定期的な運動 … 46.3%	
	③ 栄養バランスや噛む回数に気を付けて食事 … 45.0%	
	④ 休養や睡眠を十分にとっている … 44.3%	
	⑤ 読み書きや計算など頭を使うよう心がけている … 40.9%	
	→ 年齢が上がるほど、運動習慣より休養・睡眠・栄養が重視される傾向あり。	

問10
(3)(4)(5)
P163
P165
P167

問10
(2)
P157

問5
(1)
P151

(4) 口腔・栄養機能の低下傾向

問	(半年前に比べての)固いものの食べやすさ。むせることがあるか	
☐	固いものが食べにくくなった	35.4%
	・ 75歳～79歳で40.3%、85歳以上では50.2%。	
☐	お茶や汁物でむせることがある	36.3%
	・ 65歳～69歳で27.5%、70歳台で3割、80歳台で4割を超える。	

問3
(2)(3)
P41
P42

問 歯の状況（歯の数 と 入れ歯 の数）	
☐ 上位から ① 自分の歯 20 本以上、入れ歯利用なし … 36.7% ② 自分の歯 19 本以下、入れ歯利用あり … 34.4% ③ 自分の歯 19 本以下、入れ歯利用なし … 13.7% ④ 自分の歯 20 本以上、入れ歯利用あり … 11.1% → 北部圏域で、「自分の歯 20 本以上、入れ歯利用なし」の割合が他の圏域より 10 ポイントほど高い。	問 3 (6) P45
問 体重の 2 ～ 3 k g の減少の有無（最近 6 か月）	
☐ 2 ～ 3 k g の減少があった 13.0%	問 3 (7) P48

(5) 就労・社会参加を通じた活躍の場

問 現在の就労状態	
☐ 引退した 52.5% ・ 「引退した」…内訳は、男性55.3%、女性49.9% ・ 自営業は、男性22.9%、女性13.6%。	問 6 (1) P94
問 暮らしの経済状況	
☐ 苦しい（大変苦しい+やや苦しい） 34.2% ・ 80歳未満の世帯で、その割合が高い傾向	問 1 (3) P11

2 地域の支え合い・相談支援体制に関して

問 家族、知人・友人以外で、何かあったとき相談する相手	
☐ 上位から ① そのような人はいない … 41.7% ② 医師・歯科医師・看護師 … 29.1% ③ お世話センター・市役所 … 14.5% ④ 社会福祉協議会・民生委員 … 8.7%	問 7 (5) P116
問 高齢者お世話センター(高齢者相談窓口であることを知っているか)	
☐ 相談窓口であることを知っている 44.8% (15.0+29.8) ・ 女性は54.7%(19.7+35.0)に対し、男性は32.8%(9.3+23.5)。 ・ [夫婦2人暮らし(配偶者が64歳以下)世帯]の認知度が最も低い。	問10 (11) P182
問 家族構成	
☐ 上位から ① 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) … 38.7% ② 1人暮らし … 19.3% ③ 息子・娘との2世帯 … 18.9% 独居又は高齢者のみ世帯が、過半数を占めている。	問 1 (1) P4
問 介護・介助が必要になった主な原因	
☐ 普段の生活で介護・介助が必要な人 15.4% (8.5+6.9) ① 高齢による衰弱 … 23.6% ② 関節の病気 … 14.7% ③ 骨折・転倒 … 14.3%	問 1 (2)① P5P6

3 移動手段・外出環境について

問 交通手段の不足から不便を感じることもあるか	
☐ 外出に不便を感じることもある 27.9% (17.0+10.9) ・ 65歳～69歳は16.2%に対し、85歳以上では53.6%。 ・ 不便を感じるのは ①通院67.5%、②買い物58.5%、③公共施設への移動22.1%。	問11 (1) P184 P186
問 バス・タクシーの助成制度について	
☐ 助成制度を知っている 63.9% (8.7+47.7+7.5)	問11 (2) P190
問 外出する際の移動手段	
☐ 自動車（自分で運転）が最多 75.7% ・ 男性85.0%、女性68.2%	問2 (9) P34

4 在宅医療・かかりつけ機能について

問 かかりつけ（医師、歯科医師、薬剤師）の有無	
☐ 「いる」と回答のあった割合 ・ かかりつけ の医師 … 86.3% ・ かかりつけ の歯科医師 … 79.3% ・ かかりつけ の薬剤師 … 51.8% 前回調査時より、それぞれ上昇。	問11 (3)(4) (5) P192 P194 P196
問 治療中または後遺症のある病気	
☐ 上位から ① 高血圧 … 47.3% ② 目の病気 … 17.2% ③ 高脂血症(脂質異常) … 15.9% ④ 糖尿病 … 15.2% ⑤ 骨粗しょう症、関節症等 … 13.6%	問8 (7) P141

5 こころの健康・孤立予防に関して

問	気分が沈む、ゆううつな気持ちになることの有無（ここ1か月間）	
☐	気分の沈み・ゆううつな気持ちあり	40.9%
☐	物事に対して興味がわからない	25.7%
問	現在の幸福度	
☐	10点満点で7点以上	56.5%
	・ 女性の62.5%に対して、男性は49.4%。 ・ 一人暮らし世帯・64歳以下配偶者のいる世帯で幸福度がやや低い傾向。	

問8
(3)(4)
P133
P135

問8
(2)
P130

6 認知症に関して

問	自身や家族が、認知症になるおそれがあることに対する不安	
☐	不安がある	76.5% (30.4+46.1)
	(前は、80.9%)	
問	認知症の症状の有無（自身、家族）	
☐	認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある	10.2%
	・ 65歳～69歳で最も高く14.0% → 若年層を含めた備えが必要	
問	認知症の相談窓口を知っているか	
☐	相談窓口を知っている	20.2%
問	認知症初期集中支援チーム（ファーストケアチーム）を知っているか	
☐	認知症初期集中支援チームを知らない	91.8%
問	認知症サポーター養成講座、認知症カフェ	
☐	認知症サポーター養成講座を「知らない(興味がない)」	49.2%
☐	認知症カフェ(オレンジカフェ)を「知らない(興味がない)」	55.0%
	→ 「知らない(機会があれば受講したい)」34.0%、知らない(機会があれば参加したい)26.8%	
	→ 認知症サポーター受講者数は令和6年度103人に対し、令和7年度245人で増加。オレンジカフェも9か所設置。（「参考資料」P16・P17）	

問10
(6)
P169

問9
(1)
P147

問9
(2)
P149

問10
(7)
P171

問10
(8)(9)
P173
P175

問 認知症になっても住み慣れた自宅や地域で安心してくらすため何が必要か			問10 (10) P177
□ 上位から			
①	認知症を専門に受診・治療できる病院の設備 …	46.1%	
②	日常生活への支援 …	45.0%	
③	認知症家族への支援体制 …	43.4%	
④	専門の窓口の設置 …	30.0%	
③	安否確認や見守りネットワークの構築 …	27.3%	